

## 基本方針7

多文化・多世代が交流し、共生するコミュニティづくりを推進します

## 施策の柱

7-1 多文化・多世代の交流の推進

7-2 学校・家庭・地域等の連携、協働の推進

## 実施事業


7-1 多文化・多世代の交流の推進



事業コード・事業名	7 1 1		多文化共生推進事業		
担当部・担当課	企画政策部		平和国際課		
事業目的	子どもたちを中心とした国際交流の場を提供し、外国人と日本人の子どもたちの交流や多文化への理解を図る。				
事業内容	地域で活動する日本語教室の先生や大学生等が、小中学生を対象とした交流会を企画して、子どもたちを中心に多文化交流を行う。				
5年後までの 目標及び成果	平成26年度末の状況		平成31年度末の目標(値)		
	MINTOMO交流会を開催した。		企画等を工夫しながら、MINTOMO交流会を継続して開催する。		
年次ごとの 取組計画 (年次ごとの目標値)	H27	H28	H29	H30	H31
	●MINTOMO交流会の開催				
	参加者数 100人	→	→	→	→

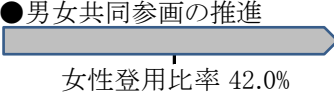
7-2 学校・家庭・地域等の連携、協働の推進

事業コード・事業名	7 2 1		地産地消の充実事業		
担当部・担当課	教育部		学校給食課		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食に安全・安心な給食食材を提供する。</li> <li>・児童・生徒と生産者との交流等を通し、生産者の苦労や努力を知ること、食料の生産に関わる人々への感謝の心を育てる。</li> </ul>				
事業内容	学校給食に安全・安心な地元野菜・水産物などの給食食材の使用推進を図り地産地消を充実する。				
5年後までの目標及び成果	平成26年度末の状況		平成31年度末の目標(値)		
	藤沢産使用品目の拡大 (30品目→33品目)		藤沢産使用品目及び使用量の拡大 (33品目を下回らない)		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27	H28	H29	H30	H31
	●藤沢産使用品目及び使用量の拡大				
	33品目	→	→	→	→

事業コード・事業名	7 2 2 (147)		人権施策推進事業		
担当部・担当課	企画政策部		人権男女共同参画課		
事業目的	「藤沢市人権施策推進指針」の基本理念である「人権を大切にし、「人権文化」を育むまちづくり」に向けて、人権尊重の精神が社会や生活の中に定着し、一人ひとりの市民が尊重され、あらゆる人が共に生きる社会の実現を目指す。				
事業内容	<p>市民が、多岐に渡る人権課題について理解を深めることができるよう、様々な機関と連携し講演会等の啓発事業を実施するとともに、人権啓発リーフレットを作成し、公共施設及び人権相談機関や啓発事業等を通じて配布するなど、市民に向けて人権意識の普及・啓発を図る機会を提供する。</p> <p>また、子どものいじめ防止について、社会全体への意識啓発に努めるとともに、市立の小・中・特別支援学校において、重大事態が発生した場合の市長部局による再調査を目的に、附属機関として藤沢市いじめ問題再調査委員会を設置し運営を図る。</p>				
5年後までの目標及び成果	平成26年度末の状況		平成31年度末の目標(値)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機関と連携し、啓発事業を実施した。</li> <li>・藤沢市いじめ問題再調査委員会を設置した。</li> <li>・「子どもをいじめから守るための条例」について、策定作業を行った。</li> </ul>		多岐に渡る人権課題に関する啓発事業について継続的に実施し、人権意識の普及・啓発の機会の充実に努める他、「子どもをいじめから守るための条例」の平成27年4月施行(予定)を見据えて、意識啓発を図るとともに、藤沢市いじめ問題再調査委員会の運営を図るなど、子どものいじめ防止施策の充実に努める。		
年次ごとの取組計画 (年次ごとの目標値)	H27	H28	H29	H30	H31
	●市人権啓発講演会ほか啓発事業の実施				
●子どものいじめ防止に関する意識啓発の推進、及びいじめ問題再調査委員会の運営					
	実施	→	→	→	→

事業コード・事業名	7 2 3	放課後子ども教室推進事業			
担当部・担当課	子ども青少年部	子ども青少年育成課			
事業目的	児童が地域社会の中で健全に育成される環境をつくるため、地域の人材を活用し、放課後児童の安全・安心な居場所(遊び場)を提供して、遊び体験や異年齢児間の交流等により、児童の健全育成を推進する。				
事業内容	小学校の余裕教室等を有効活用し、放課後の児童に地域のボランティアが見守る居場所(遊び場)を提供する。 ・日時＝原則給食のある月～金曜日の放課後 ・場所：実施小学校の余裕教室・体育館・校庭 ・対象＝実施小学校区在住の児童				
5年後までの目標及び成果	平成26年度末の状況		平成31年度末の目標(値)		
	1日あたりの利用者数(50人)		1日あたりの利用者数(75人)		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27	H28	H29	H30	H31
	 2小学校区で実施 → → → →				

事業コード・事業名	7 2 4 (215・234・831)	学校・家庭・地域連携推進事業			
担当部・担当課	教育部	学校教育企画課			
事業目的	子どもを軸とした連携により、地域づくり及び学校支援を図る。				
事業内容	・学校・家庭・地域連携推進会議「会長会」に業務委託を行い、中学校区を基本に市内に設置された15の地域協力者会議において、各地区の実情に応じた子どもたちの健やかな成長を支援する事業を実施する。 ・PTA活動を支援するために藤沢市PTA連絡協議会への業務委託及び研修会等を実施する。				
5年後までの目標及び成果	平成26年度末の状況		平成31年度末の目標(値)		
	学校・家庭・地域連携推進事業参加者総数(33,000人) (※平成25年度末)		学校・家庭・地域連携推進事業参加者総数(33,500人)		
年次ごとの取組計画(年次ごとの目標値)	H27	H28	H29	H30	H31
	●学校・家庭・地域連携推進事業の実施(会長会、業務委託の実施)  参加者総数 33,100人    33,200人    33,300人    33,400人    33,500人 ●PTA育成事業の実施(業務委託、研修会等の開催)  実施 → → → →				

事業コード・事業名	725		男女共同参画推進事業		
担当部・担当課	企画政策部		人権男女共同参画課		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策、方針決定過程への男女共同参画の推進</li> <li>・男女が平等に働くことができる労働環境の整備</li> <li>・地域での男女共同参画の推進</li> </ul>				
事業内容	女性にとっても男性にとっても、性別にとらわれることなく、社会のあらゆる分野の活動に参画できる機会の確保のため、すべての市民に対し、意識啓発と情報提供を行う。				
5年後までの 目標及び成果	平成26年度末の状況		平成31年度末の目標(値)		
	市独自の審議会等委員の女性登用比率(41.0%)		平成27年度に男女共同参画プラン2020の見直しを行うため、その際に29年度以降の目標を設定予定。		
年次ごとの 取組計画 (年次ごとの目標値)	H27	H28	H29	H30	H31
	●男女共同参画の推進  女性登用比率 42.0%		-	-	-